



図乳幼児の来院も多いため、トイレにはおむつ交換機を設置している



### 頼れるスタッフたち

同院のスタッフは9人全員が女性で、半数近くがベテラン。看護師は子どもに慣れたスタッフが多く、子どもの扱いや得意中の得意だそう。例えば、夜間から子どもの不安を察すると、優しく声をかけたり、タブレット端末でその子の年齢に合わせた動画をみせたり、安心して受診できるように様々な対応を光らせている。また、院長とはまさにフーカーの関係を、「私の説明が少し足りないかな？」というときはお断りしなくてもフォローして置いてくれるんです」と院長も信頼を置く。常に患者の様子に気を配り、ドクターと患者の顔は顔となる接点となる接点こそが、2代、3代とかかりつけにする患者が多い理由かもしれない。

「ケマが肝心だ」ということをもつと知っていたらいいですね」  
木下院長はかつて小児専門の医療機関で小児科の副院長、アレルギー治療、NICUや救急の現場に携わり、急病等についても学び尽くした。そして現在も週1度、虎の門病院で研修を続ける。その知識は表裏を知らない。「病院は子どもの患者さんが多いんです。患者さんが来院したときに、おむつを替えてくれることなどありますね」と話しながら見せた笑顔。言葉遣いも丁寧でやさしい。

→ Data  
Tel 03-3867-5470  
Add 文京区神保町2-3-13  
中里1-6-3F  
Parking 無  
Close 水/日/夜

10:00-11:30	月	火	水	木	金	土	日	祝
14:00-18:30	●	●	●	●	●	○	—	—
*09:00-14:30	●	●	●	—	—	—	—	—



## アース皮ふ科クリニック

皮膚科/美容皮膚科

### 木下 順平 院長

Junpei Kinoshita



群馬大学医学部卒業。国立成育医療研究センター(現・国立成育医療研究センター)総合診療科の小児科副科長で、次にアトピー性皮膚炎の診療にあたる。その後、群馬県立大学皮膚科小児科にて、診療科長やリウマチ科など皮膚科の診療に専事。2010年開業。日本アレルギー学会アレルギー専門医。プライベートで42歳の父。

### 実体験をもとにスタッフと全力で挑む「治す」というシンプルかつ強い目標

「西村先生に携わって8年のアース皮ふ科クリニック。頼れる患者様は幅広く、治える悩みもさまざま。思えばはじめて見た目への影響が大きいので、時として患者の気持ちもよく沈ませる。木下院長はそんな人々と、本音ベースで向き合ってきた。院長が、共感するだけでは皮状は改善しません。患者さん自身もそれまで治療してきた気持ちも一度リセットし、治療に対して前向きになることも必要だと仰るんです。その精神になるまで、私は頼りないこともありました。」「院長を頼れないその言葉には、「患者さん自身もそれまで治療してきた気持ちも一度リセットし、治療に対して前向きになることも必要だと仰るんです。その精神になるまで、私は頼りないこともありました。」「院長を頼れないその言葉には、」



木下院長は一見クールな印象がありますが、診療や患者さんへの思いを語る際の表情からは熱い信念がひしひしと伝わってきます。その一方で、2人のお子さんの顔になると、顔を見合わせるシーンも。診療室のデスクには家になった家族写真を常に置いて、疲れたときに眺めてはリラックスしているのだそうです。患者さん思い、家族思いの、すてきなドクターでした。